



運動会の一コマ。
入所者様とともに、職員も楽しもうですね。

入所者様との楽しいひと時を過ごそう

ふたばよもやま話 (第二十九回) ~B29と北九州~

戦争を体験した入所者様の世代、B29 といえば知らない人はいないだろう。

太平洋戦争末期、アメリカ軍が持つ技術力と資金力のすべてを注ぎ込み開発に成功した戦略爆撃機で、日本を敗戦に追いやった主力機である。

4発エンジンを持ち多量の爆弾を機体に積み、高度1万メートルを悠々と飛行、「空の要塞」と言われた爆撃機である。

空気の薄い上空ではターボ過給が必要だったが、当時の日本にはその技術がなく、随分迎撃には苦労した。一般には無敵と言われ、日本はなすすべもなく都市が焼き払われたイメージがあるが、日本機の迎撃、高射砲などで結構善戦している。八幡製鉄などアメリカの攻撃目標となっていた北九州は、熾烈な空中戦が行われ、墜落したB29の跡地も多い。



昭和19年八幡空襲時、日本機の体当たり攻撃でB29、2機が墜落した跡にある慰霊碑(折尾南2号公園上)

職員紹介コーナー
高校卒業後、当施設に併設されている双葉苑デイサービスに入職、今年5月より双葉苑特別養護老人ホームに異動となった竹下さんの紹介です。
竹下さんは、利用者様一人一人に温かく丁寧な言葉づかいで接し、安心感を与えられる存在となっております。
双葉苑で生活されている利用者様が安心して日々を過ごせるのはまさに竹下さんの力によるところが大きいと言っても過言ではありません。
竹下さんは「声がけや、小さな介助によっても利用者様が満足して下さることに、また感謝して下さることが、仕事の励みになる」とのことでした。
今後、双葉苑を支えていく竹下さん世代の若い職員の活躍に、期待したいものです。



入所者様に感謝とねぎらいの言葉をかけていただくことが最大の励みになる、と話して下さった竹下さん。これからも頑張ってください。

お世話になりました

この度、一身上の都合により7月31日をもって退職することとなりました。短い間ではありましたが、これまでお世話になったご家族様に心より感謝申し上げますと共に、末筆にはなりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

ケアマネージャー 坂上 初美
生活相談員 小川 由布子

今月の予定 (7月)

小倉北歯科回診 (毎火・木曜日)

1日、3日、8日、10日、15日、17日、22日、24日、29日、31日

ますゆき皮膚科回診

3日(木)

石橋医院回診 (毎月曜日)

7日、14日、28日

ビューティヘルパー

8日(火)

七夕

8日(火)

【編集雑記】竹槍とB29 戦争当時、アメリカと日本の技術力の差を例えた言葉である。鎌倉時代の元寇。神風という自然現象で勝利したと長く伝えられてきた。しかし近年の研究では、鎌倉武士の目撃の鍛錬やモンゴル軍の弓の数の威力を持つ和弓、さらには防塁という防御陣地など、まさに技術と最新の戦術により勝利できたと言われている。近代戦と言われる日清日露の戦争では、無線電信や他国に無い強力な火薬など、技術力でリード、戦いに勝利をおさめることができた。従来の無謀な戦い方である歩兵による突撃攻撃では無理と判断し、大砲による攻城戦に戦術転換し、旅順要塞を攻略した戦い方など、柔軟な対応で危機を脱してきた日本であった。今年、昭和100年、また戦後80年という節目の年である。我々世代は、明治100年という節目、近代日本が始動した明治を祝う100年が頭に残っている。明治という近代国家が生まれた100年祭はまさに祝賀一色だったように記憶しているが、戦争という多難な時代が幕開けした昭和の100歳誕生日は、受ける印象が違ってくると感じるのは自分だけであろうか? 不屈の闘志と共に、最新の技術や戦略で困難を乗り越えてきた明治以前と、精神論一色で戦争に立ち向かった昭和では、何か一抹の虚しさを感じてしまう。明治期、世界最強と言われたロシアバルチック艦隊を撃破できたのは、前述のように猛訓練と共に、最新の技術力があつた。日本海海戦のパーフェクトゲームを夢見て、近代兵器と技術力を疎かにした結果が太平洋戦争となって現れた。まさに「竹槍とB29」である。戦後日本は猛反省し、近代化に努めた結果、技術立国となった。かつての社会を取り巻く環境、植民地主義、その他諸々あり戦争の是非論は現代の尺度では測れないだろう。核保有国が増え、ミサイルが飛び交う今、ただ平和をお題目のように唱えるだけではなく、人類の英知を集め、平和を維持すべき時になっているのではありませんか? いろいろ考えなくてはならない夏である。